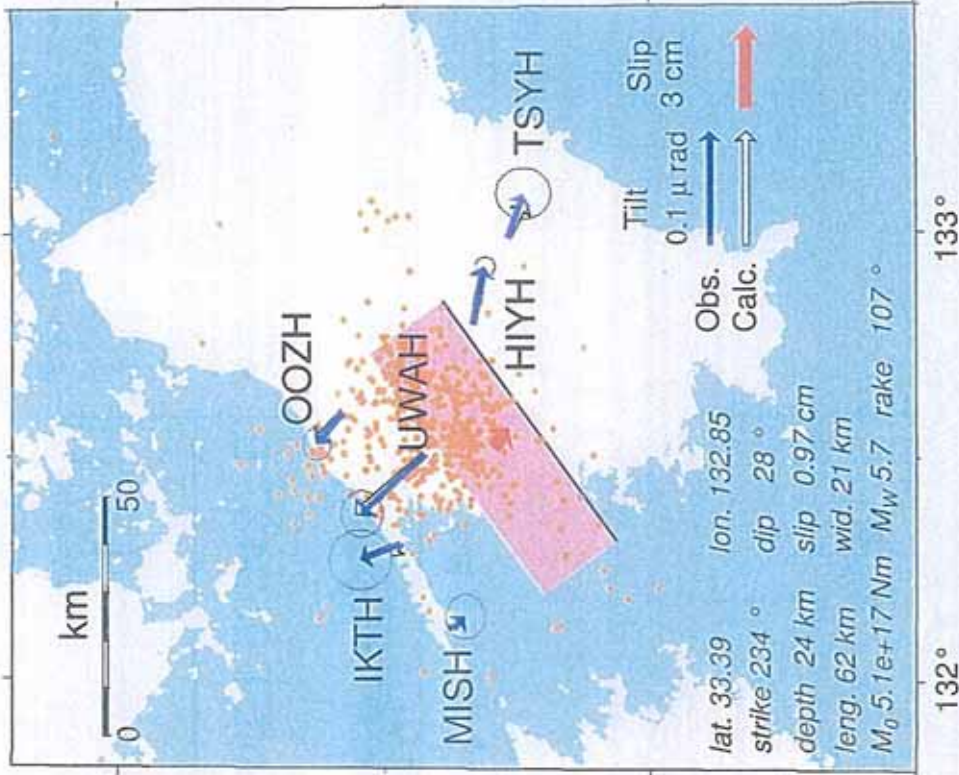


四国西部において、深部低周波微動に同期した短期的スロースリップイベント (SSE) が再発した。この領域では2005年5月に同様なイベントが観測されており、約6か月ぶりに再来したことになる。

図1 (左図): 2005年10月14日から31日までの傾斜時系列。観測点の位置は図2中に示した。上方向が北・東下がり。BAYTAP-Gにより潮汐・気圧成分を除去した。宇和島観測所での気圧観測値を使用し気圧応答補正をした。リニアトレンド除去後の記録を示した。図中の破線で示した期間の傾斜変化ベクトルを図2に示した。下段には四国西部における微動活動度(1日毎の時間数)・宇和島観測所の気圧・雨量をあわせて示した。

図2 (右図): 図1の破線で示した期間に観測された傾斜変化ベクトル (青矢印)・このデータから推定されたスロースリップイベントの断層モデル (赤矩形・矢印)・モデルから計算される傾斜変化ベクトル (白抜き矢印)。同じ期間の微動の震央を橙点で示した。



謝辞

気象庁のホームページで公開されている気象観測データ、および、国土地理院のGPSデータを利用させていただきました。記して感謝いたします。